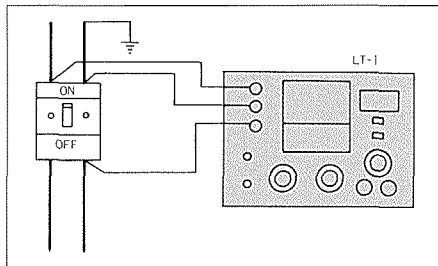
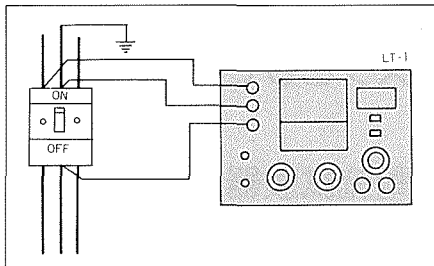


結線方法

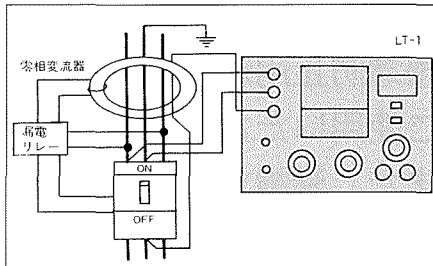
■2P・2E漏電遮断器の感度電流・動作時間の測定



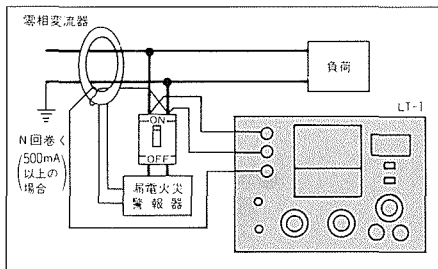
■3P・3E漏電遮断器の感度電流・動作時間の測定



■別置形漏電遮断器の感度電流・動作時間の測定

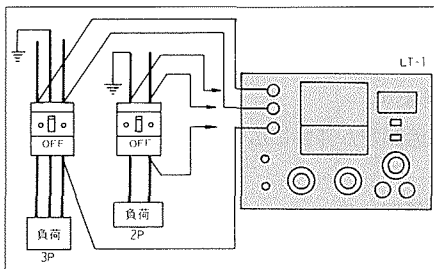


■漏電火災警報器・漏電リレーの感度電流測定

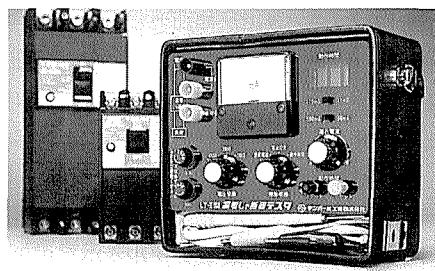


漏電遮断器の感度電流測定と同じ方法で測定してください。500mA以上の感度電流測定は、感度電流切替スイッチを“500mA”にして、負荷側測定リード線を零相変流器にN回巻いてください。テストの電流計の最大値は $N \times 500\text{mA}$ になります。

●漏れ電流の測定



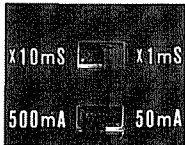
- ①必ず漏電遮断器を“OFF”にしてください。
- ②電源側測定端子の⊕極及び負荷側測定端子は、漏電遮断器の接地側端子以外の端子に接続するように注意してください。
- ③機能切替スイッチは“感度電流”にセットしてください。



感度電流の測定手順



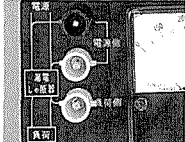
- ①電圧切替スイッチを、漏電遮断器の使用電圧にセットしてください。セットを間違えますと電源ヒューズ(0.1A)が切れますのでご注意ください。



- ②感度電流切替スイッチは、漏電遮断器の定格感度電流が、50mA以下の場合は、“50mA”に、50mAを超え500mA以下の場合は“500mA”にセットします。



- ③機能切替スイッチを“感度電流”にセットし、漏れ電流ツマミを“減”にします。



- ④電源側測定リード線はテストの“電源側”端子に、負荷側測定リード線はテストの“負荷側”端子に接続します。



- ⑤“ON”にした漏電遮断器の負荷側に、負荷側測定リード線を（電源側赤極と同じ極）押しあて、電流計の値に注意しながら漏れ電流ツマミを“減”から徐々に“増”に回します。

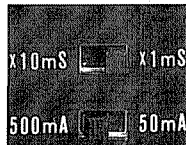


- ⑥漏電遮断器が遮断したときの電流値を読みます。再度遮断電流値を確認したい場合には機能切替スイッチを“電流設定”にセットしてください。

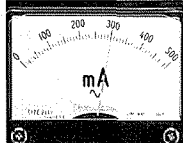
動作時間の測定手順



- ①機能切替スイッチを“電流設定”にセットします。



- ②漏電遮断器の定格動作時間が1秒までの場合は“x1ms”に、1秒以上10秒までの場合は“x10ms”に動作時間切替スイッチをセットします。



- ③漏れ電流ツマミを回して電流計が漏電遮断器の定格感度電流を指示するようにセットします。



- ④機能切替スイッチを“動作時間”にセットします。



- ⑤リセットボタンを押して、動作時間表示を“0”にし、“ON”にした漏電遮断器の負荷側に負荷側測定リード線を押しあて、スタートボタンを押します。



- ⑥動作時間表示部に表示された数値が動作時間です。